

(資料提供)

## 二枚貝と共生する奇妙な形をしたアンモナイトの新種の発見について

この度、徳島県立博物館、北九州市立自然史・歴史博物館、大阪市立自然史博物館が所蔵する香川県から発見された化石を、当館と北九州市立自然史・歴史博物館で共同研究した結果、新種のアンモナイトであることがわかり学術誌に掲載されました。

### 1 発見の要点

- ・複雑な巻き方をした奇妙な形のアンモナイトの新種
- ・「ディディモセラス・モロズミイ」と命名
- ・阿讃山脈（讃岐山脈）をつくる恐竜時代の地層では41年ぶりのアンモナイトの新種
- ・日本固有のS字状をしたアンモナイト（プラビトセラス）の進化を解明する上で重要
- ・殻の表面に付着する二枚貝と共生関係にあった

### 2 産地

香川県東かがわ市

### 3 時代

中生代白亜紀後期カンパニアン期（約7400万年前）

### 4 一般公開

展覧会：特別陳列「徳島まるづかみ展 ―コミュニケーションで展示を楽しもう！―」

期 間：令和3年4月23日（金）から5月30日（日）まで

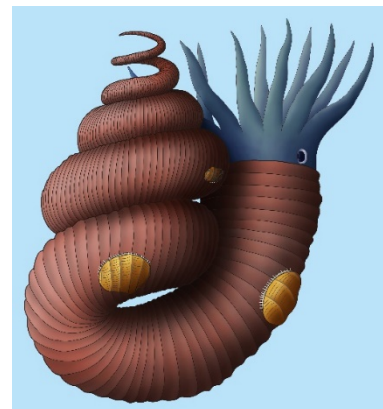
時 間：午前9時30分から午後5時まで

場 所：文化の森多目的活動室（1階）

（北九州市立自然史・歴史博物館、大阪市立自然史博物館でも4月23日より展示）

### 5 詳細情報

別紙参照



ディディモセラス・モロズミイの生体復元図